

評価会議（平成30年度期末）における委員の評価及び意見

受託者等に対する評価

1 項目ごと評価

評価項目		A委員	B委員	C委員	
支援の内容および効果等	協議会の取組 （イメージ） 自律的運営に向けた地域活動	(1)「地域課題への取組」にかかる支援の状況（実績）及び効果等 (配点5点)	3点	4点	3点
		(2)「つながりの拡充」にかかる支援の状況（実績）及び効果等 (配点5点)	3点	4点	4点
		(3)「組織運営」にかかる支援の状況（実績）及び効果等 (配点5点)	3点	4点	4点
	事業の実施体制等	(1)自由提案による地域支援の状況（実績）及び効果等 (配点5点)	—	—	—
		(2-1)スーパーバイザー、アドバイザー及び地域まちづくり支援員の体制にかかる支援状況（実績）及び効果等 (配点5点)	4点	4点	4点
		(2-2)フォロー（バックアップ）体制等にかかる支援状況（実績）及び効果等 (配点5点)	3点	3点	4点
		(3)区のマネジメントに対応した取組にかかる支援状況（実績）及び効果等 (配点5点)	—	—	—
	策（取組） 今年度の重点支援	区の方針・戦略を踏まえた今年度の重点支援策（取組）にかかる支援状況（実績）及び効果等 (配点5点)	4点	4点	4点

(※) 事業者等において、取組の提案等の記載がなかった項目については、委員評価の対象外のため「—」となっています。

主な意見等

- ・ワークショップ参加者の集め方、進め方がかなり大きな要素を占めるので、そのあり方に留意すること。
- ・担い手確保ワークショップは、団体内の若手をエンパワメントする効果があり評価できる。ただ、いまだ活動に加わっていない層については、狙いを定めて「防災」や「イベント」など参加しやすい単発プログラムを仕掛ける必要があると思う。

- ・アドバイザーと行政職員だけでなく、テーマごとの助言者やコミュニケーション術のスーパーバイズが受けられるような体制を目指していただきたい。
- ・主体的に地域課題を解決する地域づくりをサポートしていただきたい。

旭区役所に対する意見

- ・地域でバラつきがあるのは当然で、支援を段階別に行うことも必要だが、横つなぎ（担当者同士の情報交換会や好事例の見学会）の機会を増やし、高めあえる機会の創出に努めていただきたい。

(採点基準)

- 5点：期待レベルをはるかに上回っている。
- 4点：期待レベルを上回っている。
- 3点：概ね期待レベルに達している。
- 2点：期待レベルを下回っている。
- 1点：期待レベルに全く達していない。